

平成 30 年度（2018 年度）

区民意識意向調査

報告書

練馬区

3 地域福祉について

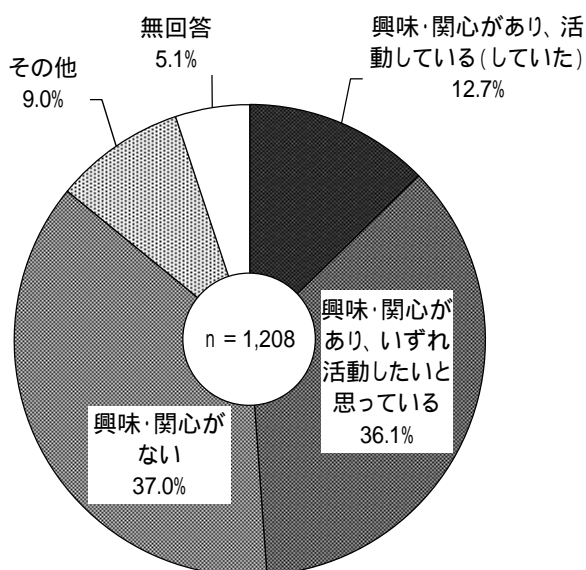
(1) 地域福祉活動への興味・関心

「興味・関心がない」は4割近く

問23 あなたは、地域福祉活動に興味・関心がありますか。また、活動していますか(いましたか)。

地域福祉活動とは、自治会やPTA、福祉施設でのボランティアなど、子どもからお年寄りまで、障害のある人もない人も、全ての人がある地域で安心して暮らせるようにするための、住民の自発的な意思に基づく助け合いの活動です。

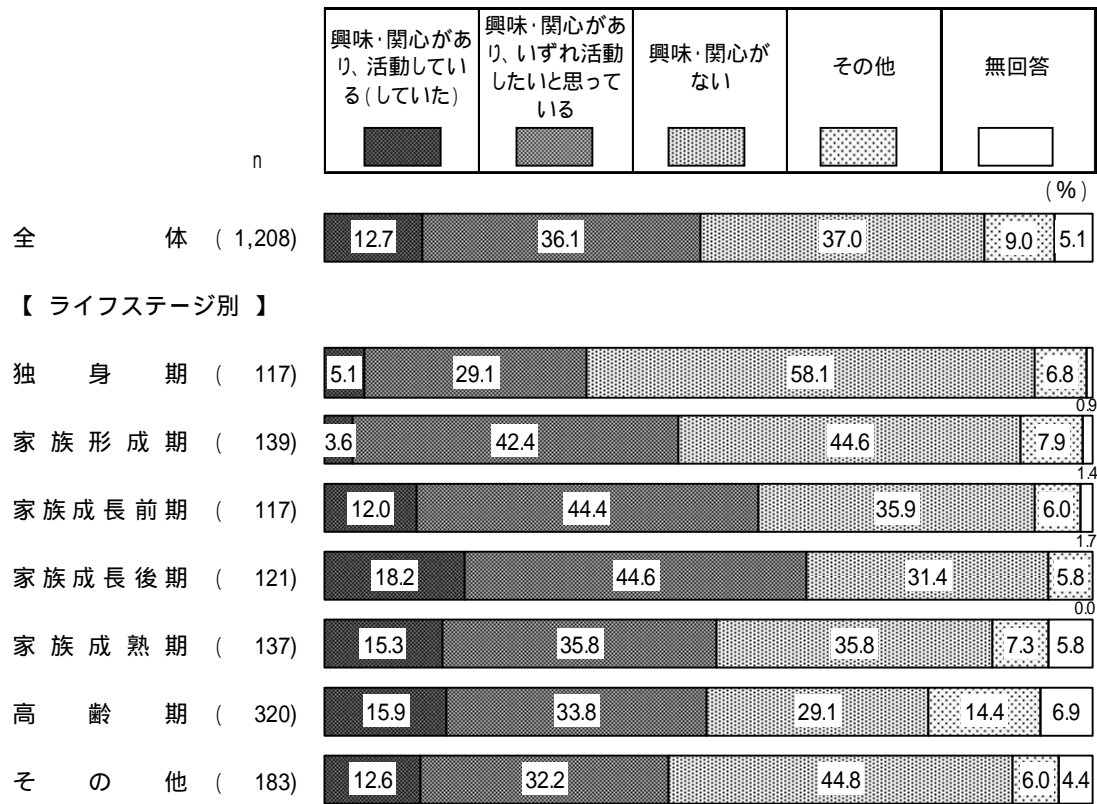
図3 - 1 - 1 地域福祉活動への興味・関心



地域福祉活動への興味・関心について聞いたところ、「興味・関心がない」(37.0%)が4割近くで最も多く、次いで「興味・関心があり、いずれ活動したいと思っている」(36.1%)が3割台半ばとなっている。また、「興味・関心があり、活動している(していた)」(12.7%)は1割を超えている。

(図3 - 1 - 1)

図3 - 1 - 2 地域福祉活動への興味・関心 - ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「興味・関心があり、いずれ活動したいと思っている」は家族成長前期と家族成長後期で4割台半ばと多くなっている。「興味・関心がない」は独身期で6割近くと多くなっている。(図3 - 1 - 2)

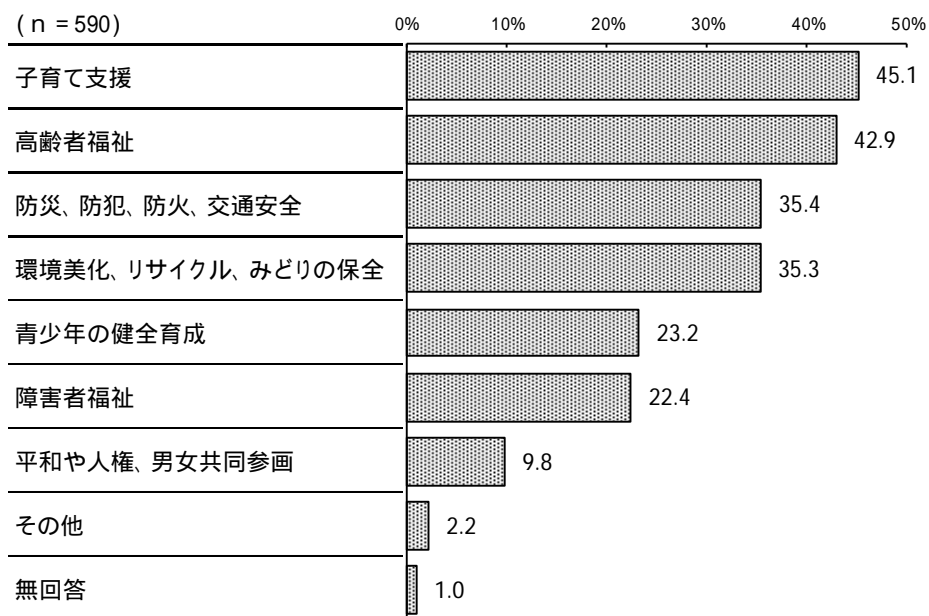
(1 - 1) 興味・関心がある地域福祉活動

「子育て支援」は4割台半ば

(問23で「興味・関心があり、活動している(していた)」または「興味・関心があり、いずれ活動したいと思っている」と答えた方へ)

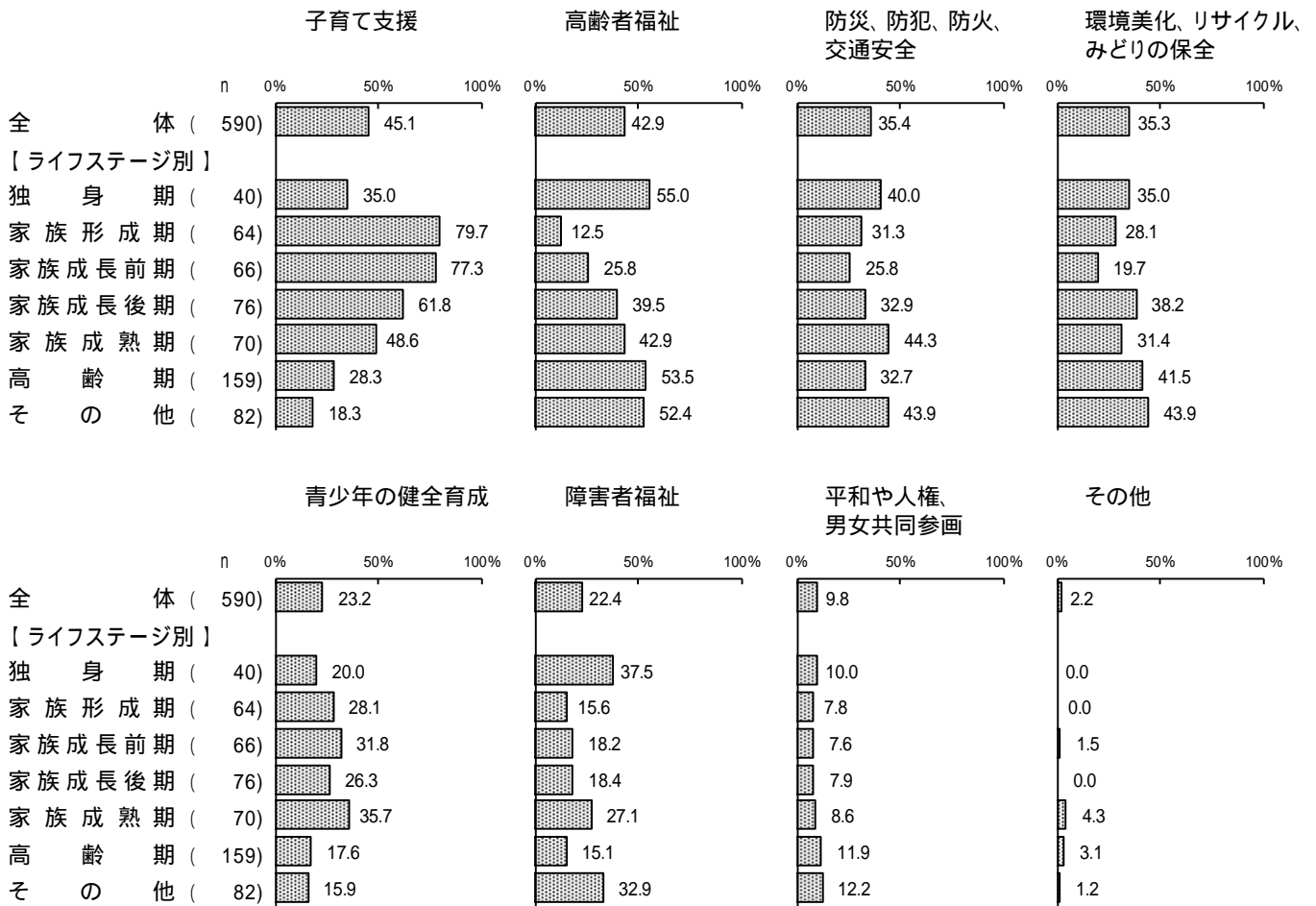
問23 - 1 興味・関心がある活動は、どのような活動分野ですか。(はいくつでも)

図3 - 1 - 3 興味・関心がある地域福祉活動



地域福祉活動に「興味・関心がある」と答えた方(590人)に、興味・関心がある地域福祉活動について聞いたところ、「子育て支援」(45.1%)が4割台半ばで最も多く、次いで「高齢者福祉」(42.9%)、「防災、防犯、防火、交通安全」(35.4%)、「環境美化、リサイクル、みどりの保全」(35.3%)などの順となっている。(図3 - 1 - 3)

図3 - 1 - 4 興味・関心がある地域福祉活動 - ライフステージ別



ライフステージ別に見ると、「子育て支援」は家族形成期、家族成長前期で7割台後半と多くなっている。「高齢者福祉」は独身期が5割台半ばで最も多くなっている。「防災、防犯、防火、交通安全」は独身期、家族成熟期、その他で4割台前半となっている。(図3 - 1 - 4)

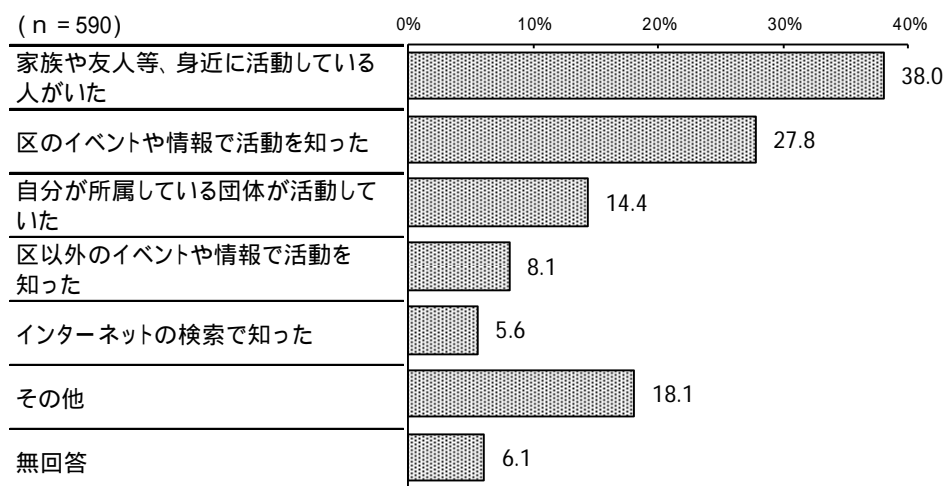
(1 - 2) 地域福祉活動に興味・関心を持ったきっかけ
 「家族や友人等、身近に活動している人がいた」は4割近く

(問23で「興味・関心があり、活動している(していた)」または「興味・関心があり、いずれ活動したいと思っている」と答えた方へ)

問23 - 2 あなたが地域福祉活動に興味・関心を持ったきっかけは何ですか。

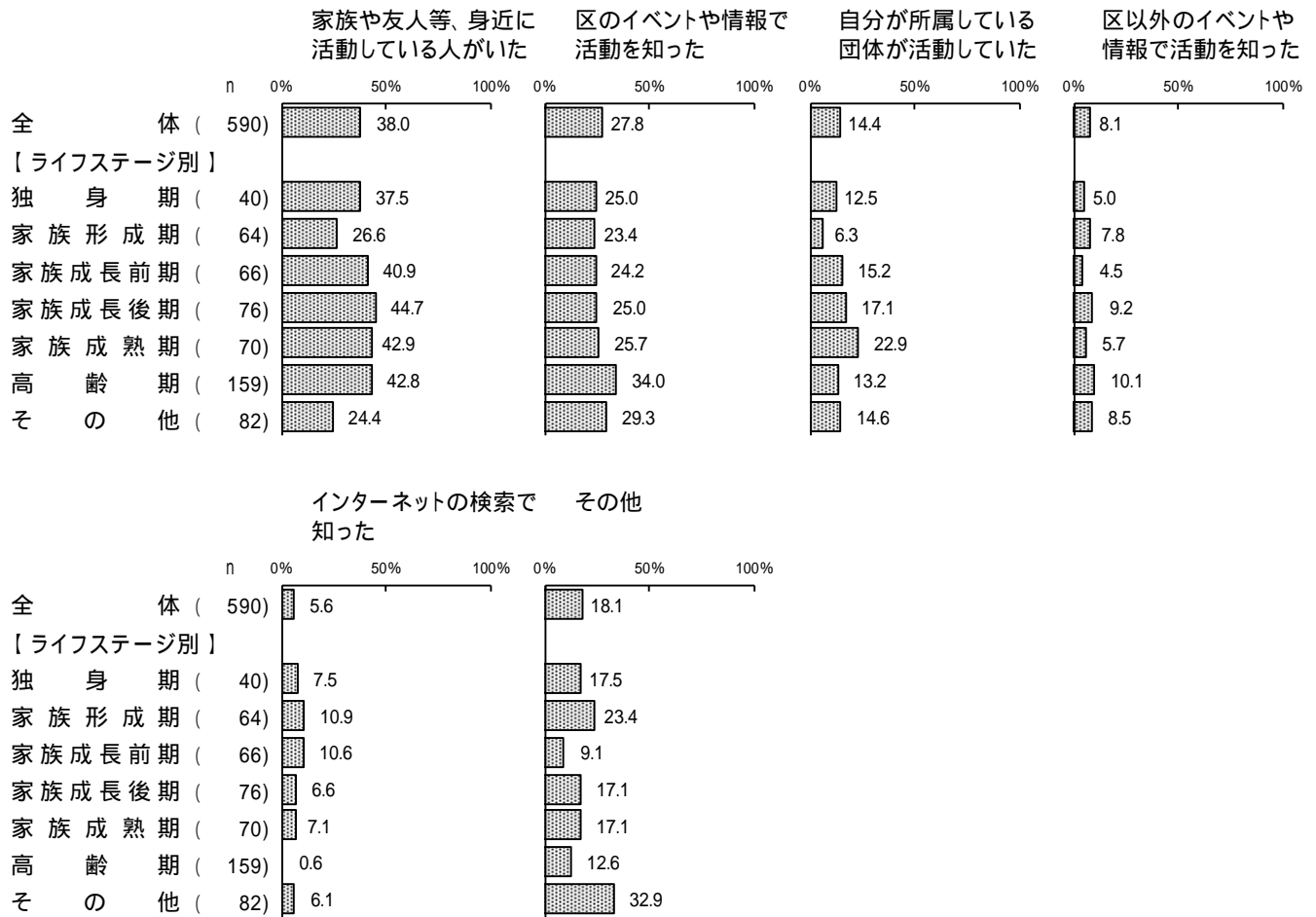
(はいくつでも)

図3 - 1 - 5 地域福祉活動に興味・関心を持ったきっかけ



地域福祉活動に「興味・関心がある」と答えた方(590人)に、興味・関心を持ったきっかけについて聞いたところ、「家族や友人等、身近に活動している人がいた」(38.0%)が4割近くで最も多く、次いで「区のイベントや情報で活動を知った」(27.8%)、「自分が所属している団体が活動していた」(14.4%)の順となっている。(図3 - 1 - 5)

図3 - 1 - 6 地域福祉活動に興味・関心を持ったきっかけ - ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「家族や友人等、身近に活動している人がいた」は家族成長前期、家族成長後期、家族成熟期、高齢期で4割台前半となっている。「区のイベントや情報で活動を知った」は高齢期で3割台半ばとなっている。(図3 - 1 - 6)

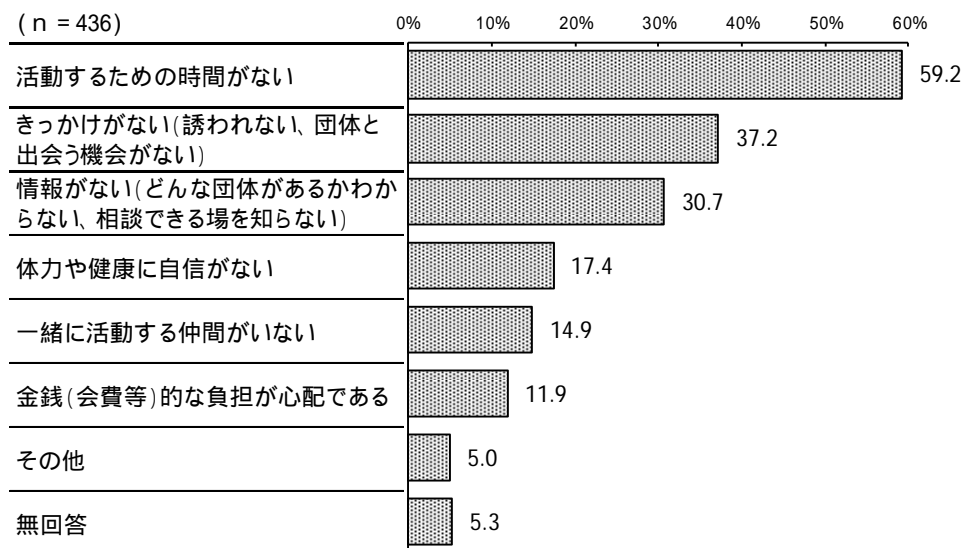
(1 - 3) 地域福祉活動をしていない理由
 「活動するための時間がない」は約6割

(問23で「興味・関心があり、いずれ活動したいと思っている」と答えた方へ)

問23 - 3 興味・関心があっても、地域福祉活動をしていない理由は何ですか。

(はいくつでも)

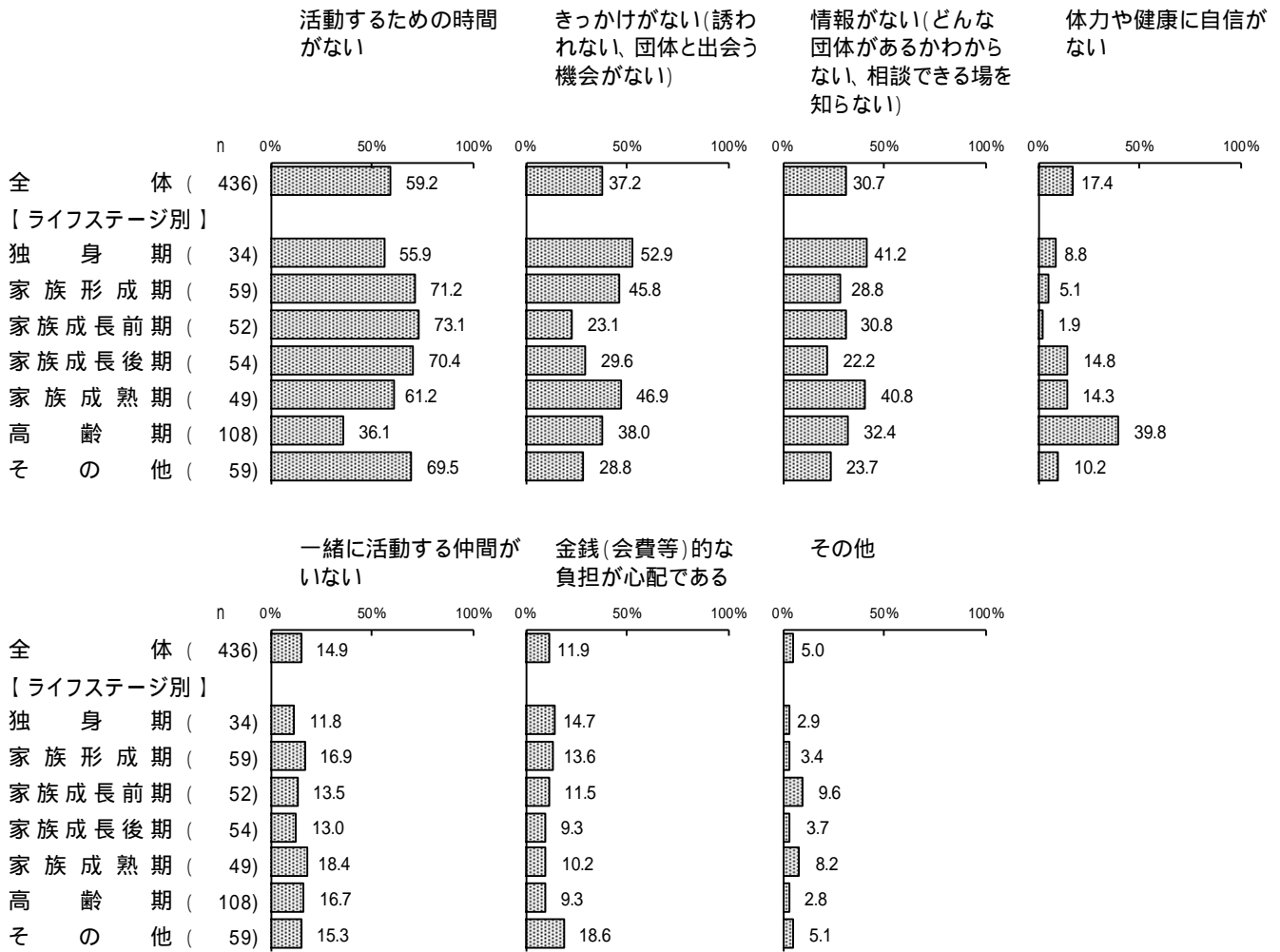
図3 - 1 - 7 地域福祉活動をしていない理由



地域福祉活動に「興味・関心があり、いずれ活動したいと思っている」と答えた方(436人)に、活動をしていない理由について聞いたところ、「活動するための時間がない」(59.2%)が約6割で最も多く、次いで「きっかけがない(誘われない、団体と出会う機会がない)」(37.2%)、「情報がない(どんな団体があるかわからない、相談できる場を知らない)」(30.7%)などの順となっている。

(図3 - 1 - 7)

図3 - 1 - 8 地域福祉活動をしていない理由 - ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「活動するための時間がない」は家族形成期、家族成長前期、家族成長後期で7割台前半と多くなっている。「きっかけがない(誘われない、団体と出会う機会がない)」は独身期で5割を超えている。「情報がない(どんな団体があるかわからない、相談できる場を知らない)」は独身期、家族成熟期で4割台前半、「体力や健康に自信がない」は高齢期で約4割と多くなっている。

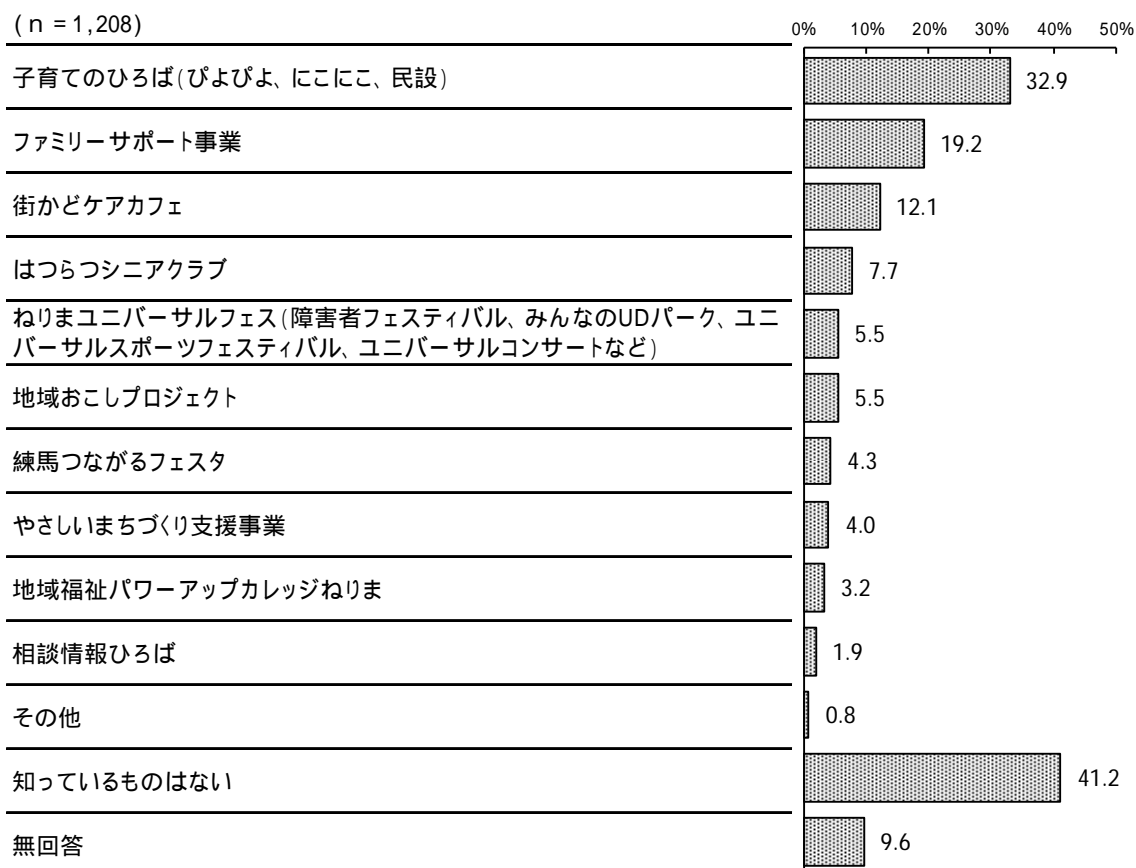
(図3 - 1 - 8)

(2) 区民参加事業の認知状況

「子育てのひろば(びよびよ、にこにこ、民設)」は3割を超える

問24 区が独自に実施し、区民参加で進めている次の事業のうち、知っているものはありますか。(はいいくつでも)

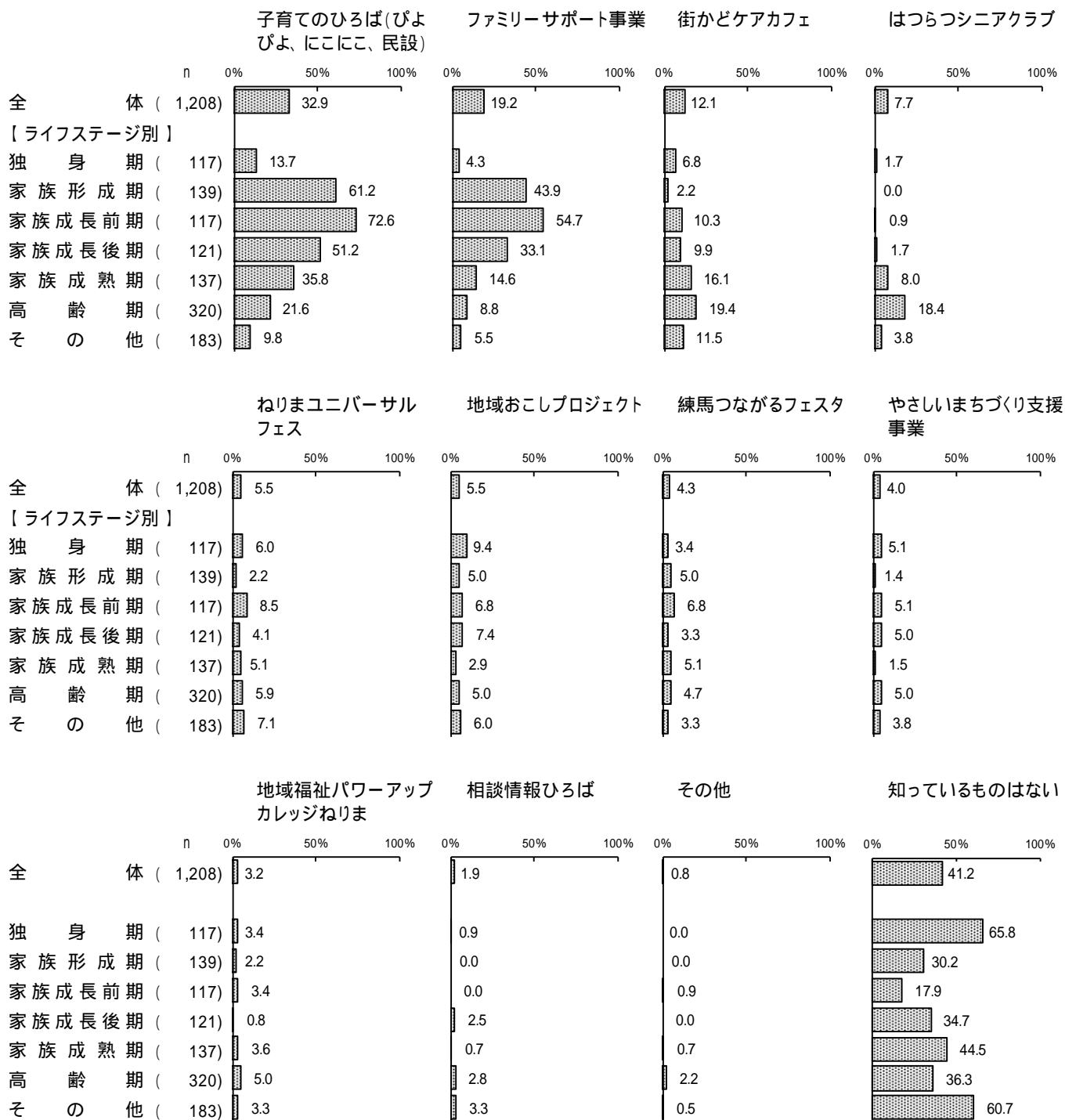
図3-2-1 区民参加事業の認知状況



区民参加事業の認知状況について聞いたところ、「子育てのひろば(びよびよ、にこにこ、民設)」(32.9%)が3割を超えて最も多く、次いで「ファミリーサポート事業」(19.2%)、「街かどケアカフェ」(12.1%)の順となっている。一方、「知っているものはない」(41.2%)は4割を超えている。

(図3-2-1)

図3 - 2 - 2 区民参加事業の認知状況 - ライフステージ別

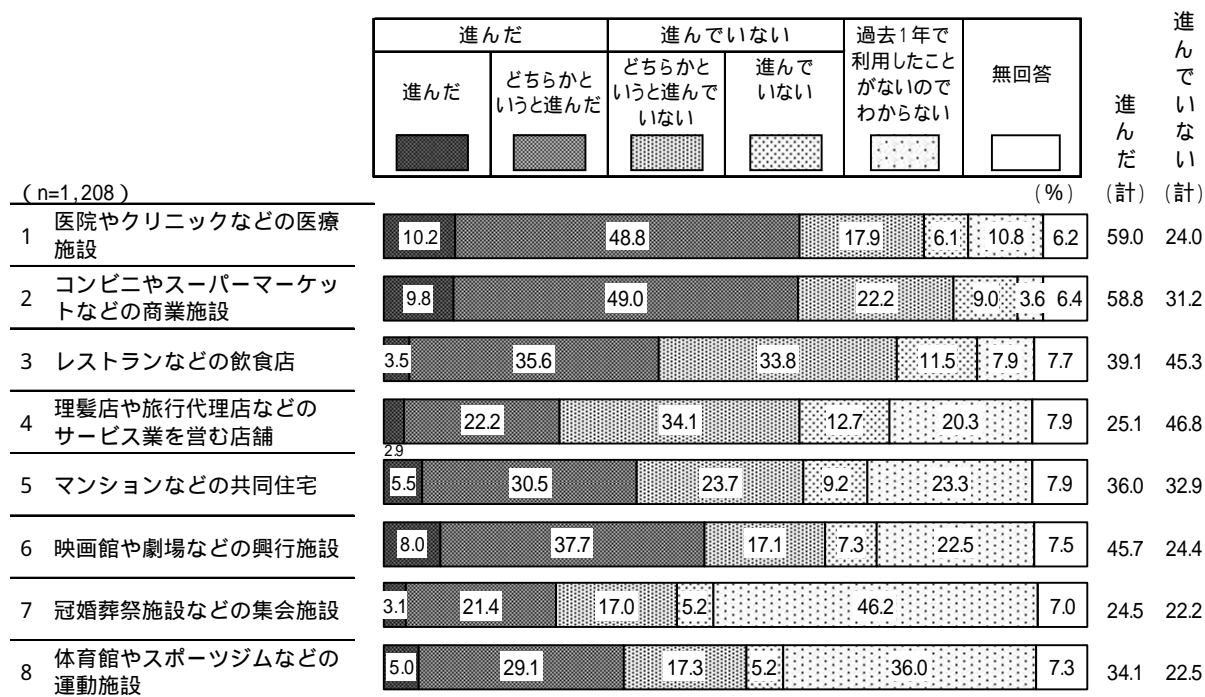


ライフステージ別にみると、「子育てのひろば(びよびよ、にこにこ、民設)」は家族成長前期で7割を超え、「ファミリーサポート事業」は家族成長前期で5割台半ばと多くなっている。「はつらつシニアクラブ」は高齢期で2割近くとなっている。「知っているものはない」は独身期で6割台半ば、その他で約6割と多くなっている。(図3 - 2 - 2)

(3) 区内の中規模・小規模の建物のバリアフリー整備状況

問25 区内の中規模・小規模の建物について、以前と比べて、高齢者や障害者、乳幼児を連れ
た方などが利用しやすいバリアフリー整備が進んだと思いますか。

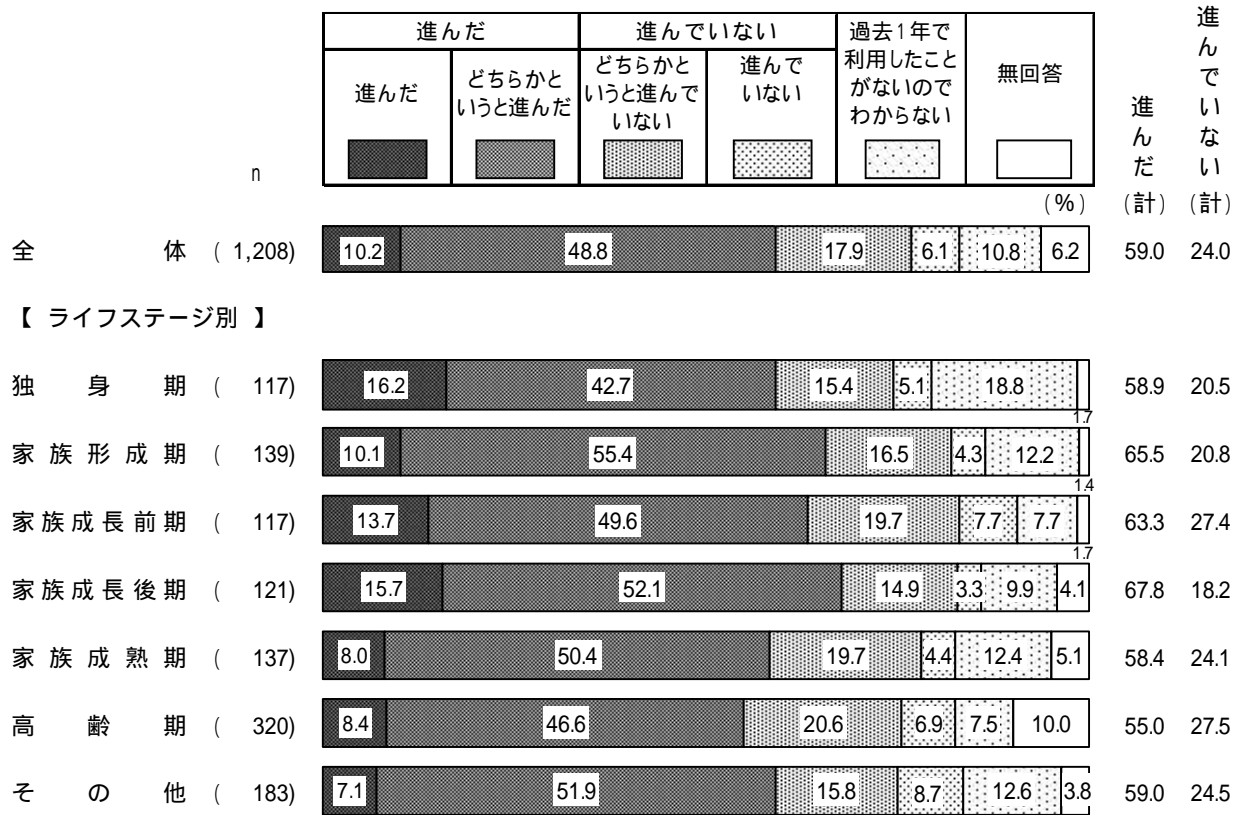
図3-3-1 区内の中規模・小規模の建物のバリアフリー整備状況



区内の中規模・小規模の建物のバリアフリー整備状況について聞いたところ、「進んだ」と「どちらかというに進んだ」を合わせた『進んだ』は、「医院やクリニックなどの医療施設」(59.0%)で約6割、「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」(58.8%)で6割近くとなっている。一方、「どちらかというに進んでいない」と「進んでいない」を合わせた『進んでいない』は、「理髪店や旅行代理店などのサービス業を営む店舗」(46.8%)、「レストランなどの飲食店」(45.3%)で4割台半ばとなっている。(図3-3-1)

図3 - 3 - 2 区内の中規模・小規模の建物のバリアフリー整備状況 - ライフステージ別

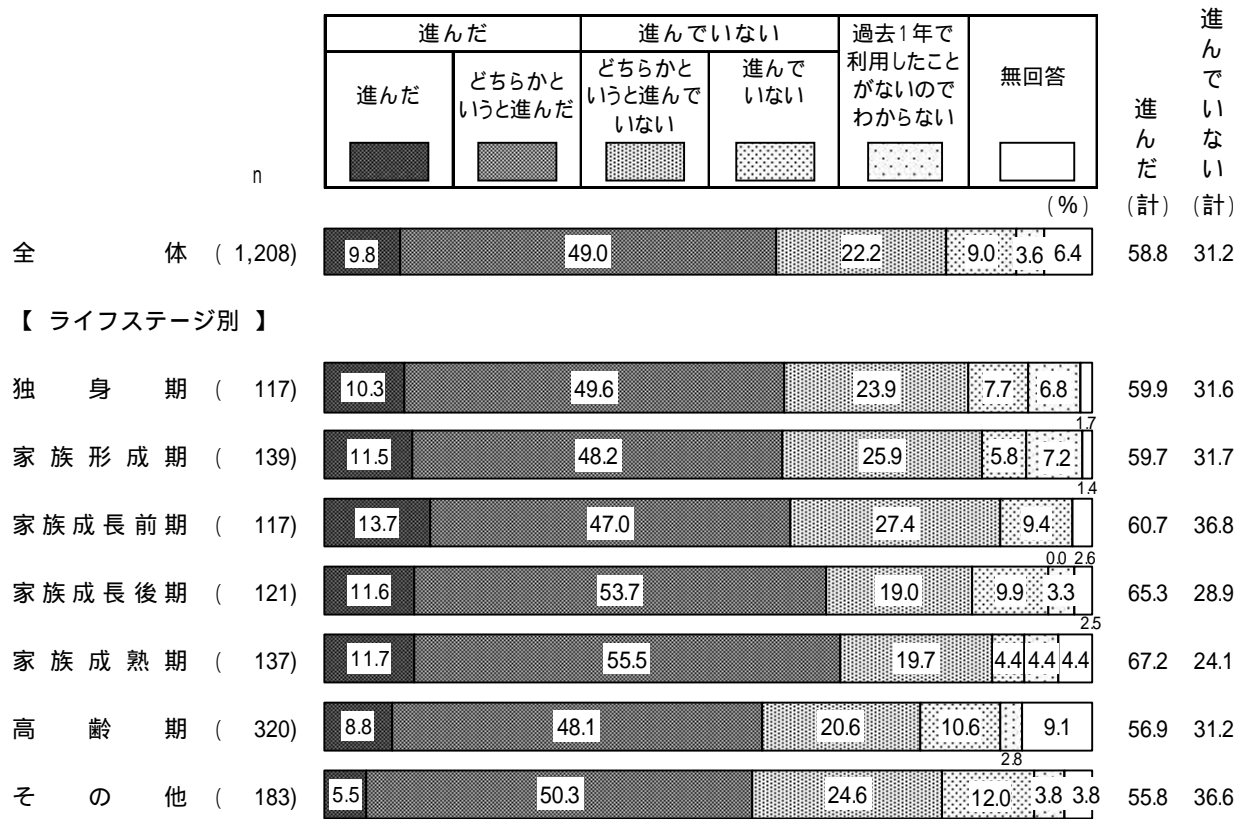
1 医院やクリニックなどの医療施設



ライフステージ別にみると、『進んだ』は家族成長後期で7割近く、家族形成期で6割台半ば、家族成長前期で6割を超えている。一方、『進んでいない』は家族成長前期、高齢期で3割近くとなっている。(図3 - 3 - 2)

図3 - 3 - 3 区内の中規模・小規模の建物のバリアフリー整備状況 - ライフステージ別

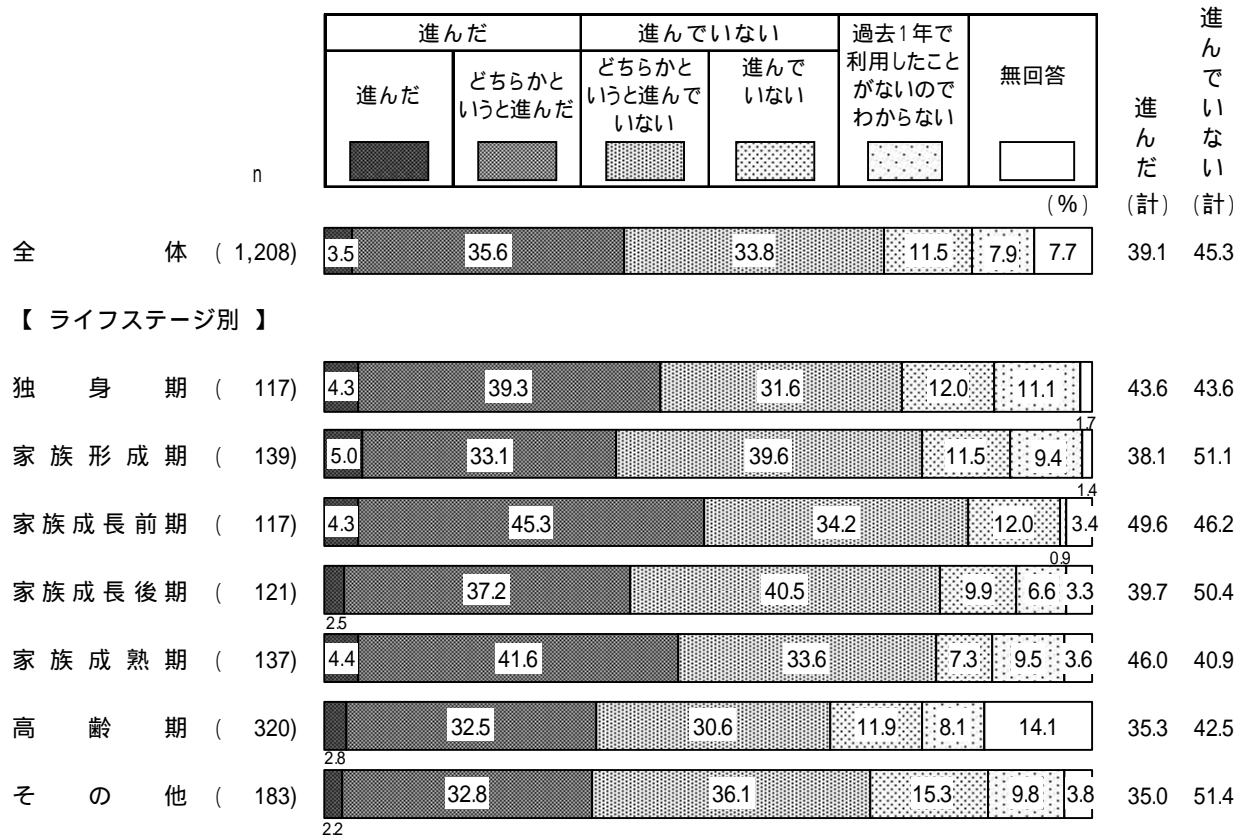
2 コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設



ライフステージ別にみると、『進んだ』は家族成熟期で7割近く、家族成長後期で6割台半ば、家族成長前期で約6割となっている。一方、『進んでいない』は家族成長前期、その他で3割台半ばとなっている。(図3 - 3 - 3)

図3 - 3 - 4 区内の中規模・小規模の建物のバリアフリー整備状況 - ライフステージ別

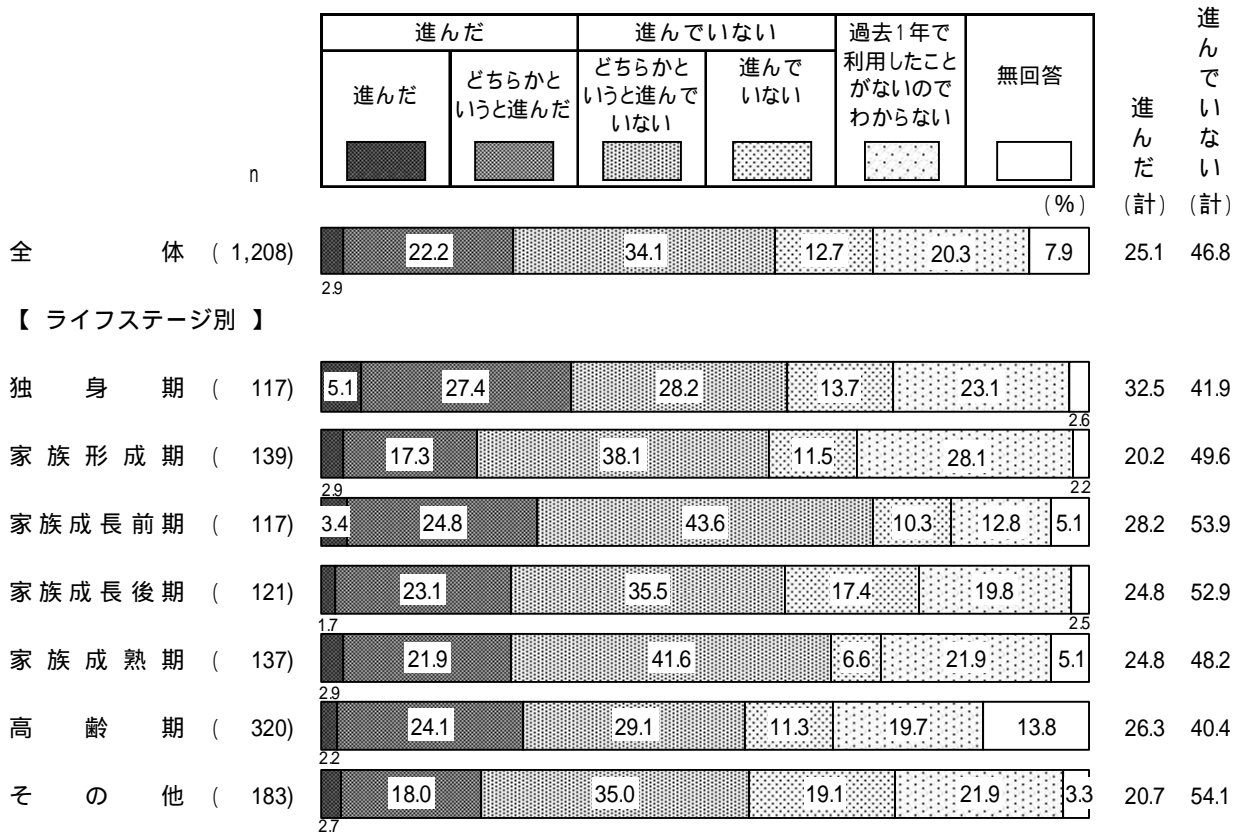
3 レストランなどの飲食店



ライフステージ別にみると、『進んだ』は家族成長前期で約5割となっている。一方、『進んでいない』は家族形成期、その他で5割を超え、家族成長後期で約5割となっている。(図3 - 3 - 4)

図3 - 3 - 5 区内の中規模・小規模の建物のバリアフリー整備状況 - ライフステージ別

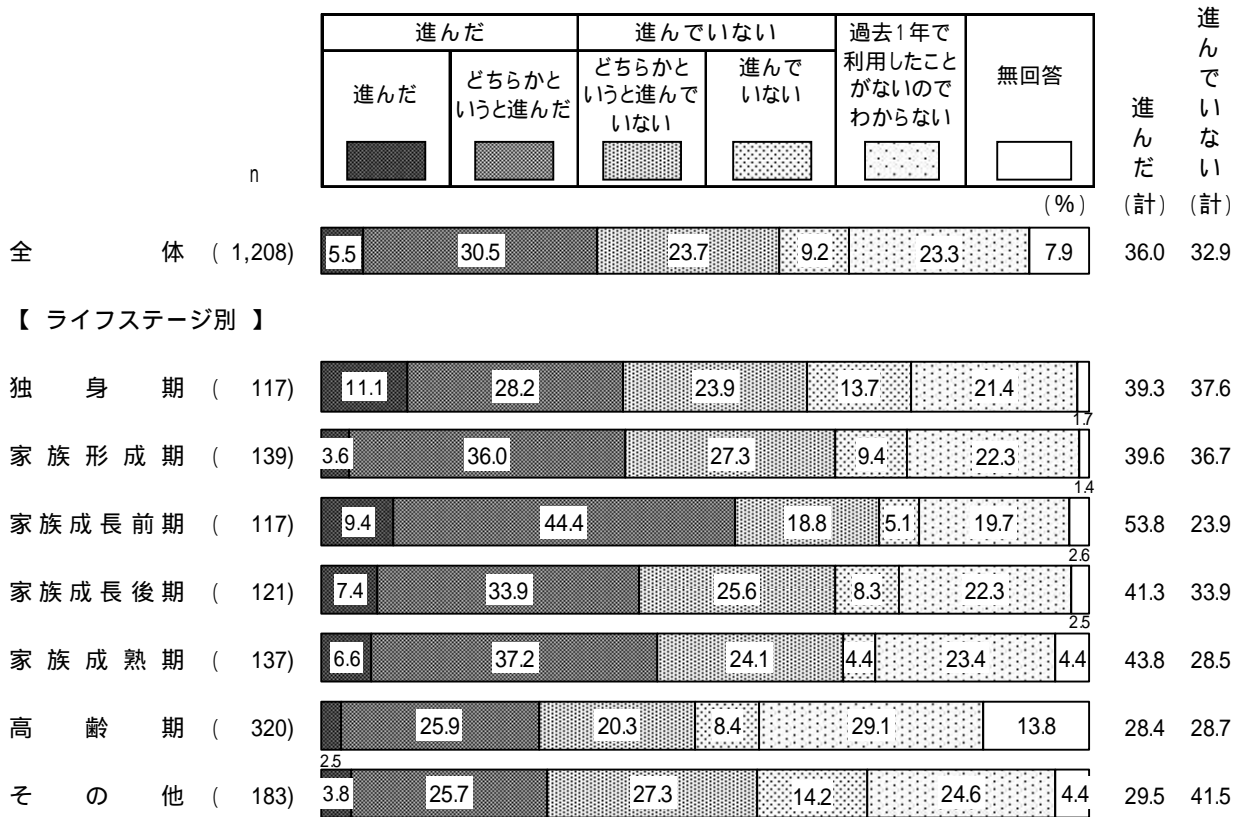
4 理髪店や旅行代理店などのサービス業を営む店舗



ライフステージ別にみると、『進んだ』は独身期で3割を超えている。一方、『進んでいない』はその他で5割台半ば、家族成長前期、家族成長後期で5割を超えている。(図3 - 3 - 5)

図3 - 3 - 6 区内の中規模・小規模の建物のバリアフリー整備状況 - ライフステージ別

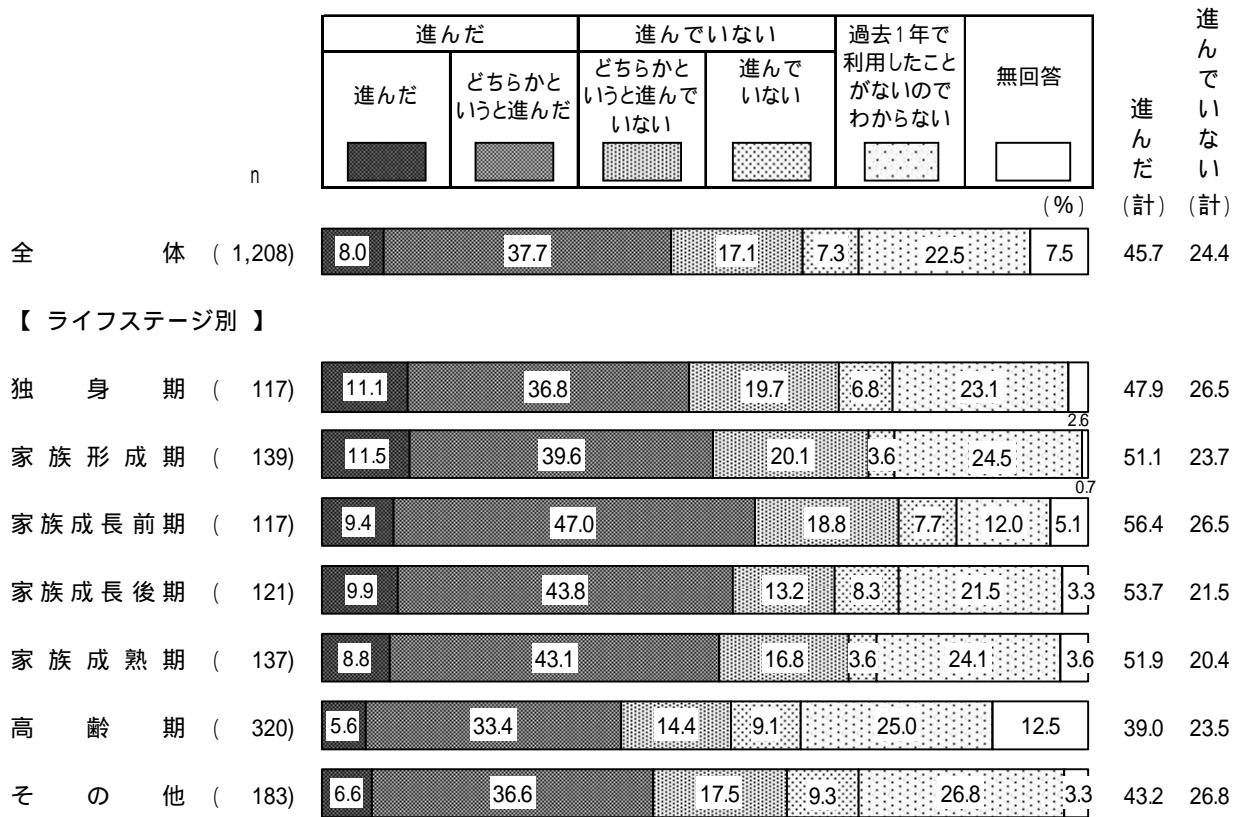
5 マンションなどの共同住宅



ライフステージ別にみると、『進んだ』は家族成長前期で5割を超えている。一方、『進んでいない』はその他で4割を超え、独身期で4割近くとなっている。(図3 - 3 - 6)

図3 - 3 - 7 区内の中規模・小規模の建物のバリアフリー整備状況 - ライフステージ別

6 映画館や劇場などの興行施設

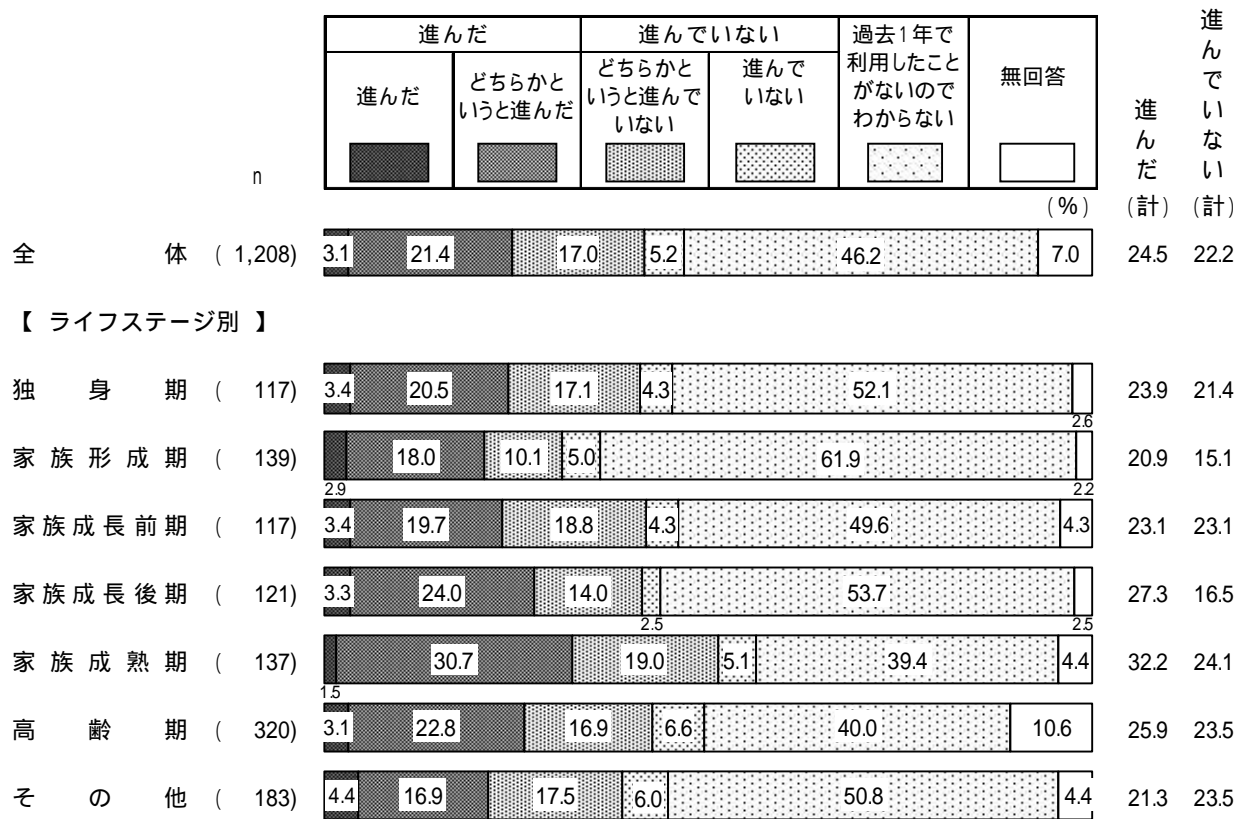


ライフステージ別にみると、『進んだ』は家族成長前期で5割台半ば、家族成長後期で5割を超えている。一方、『進んでいない』は独身期、家族成長前期、その他で2割台半ばとなっている。

(図3 - 3 - 7)

図3 - 3 - 8 区内の中規模・小規模の建物のバリアフリー整備状況 - ライフステージ別

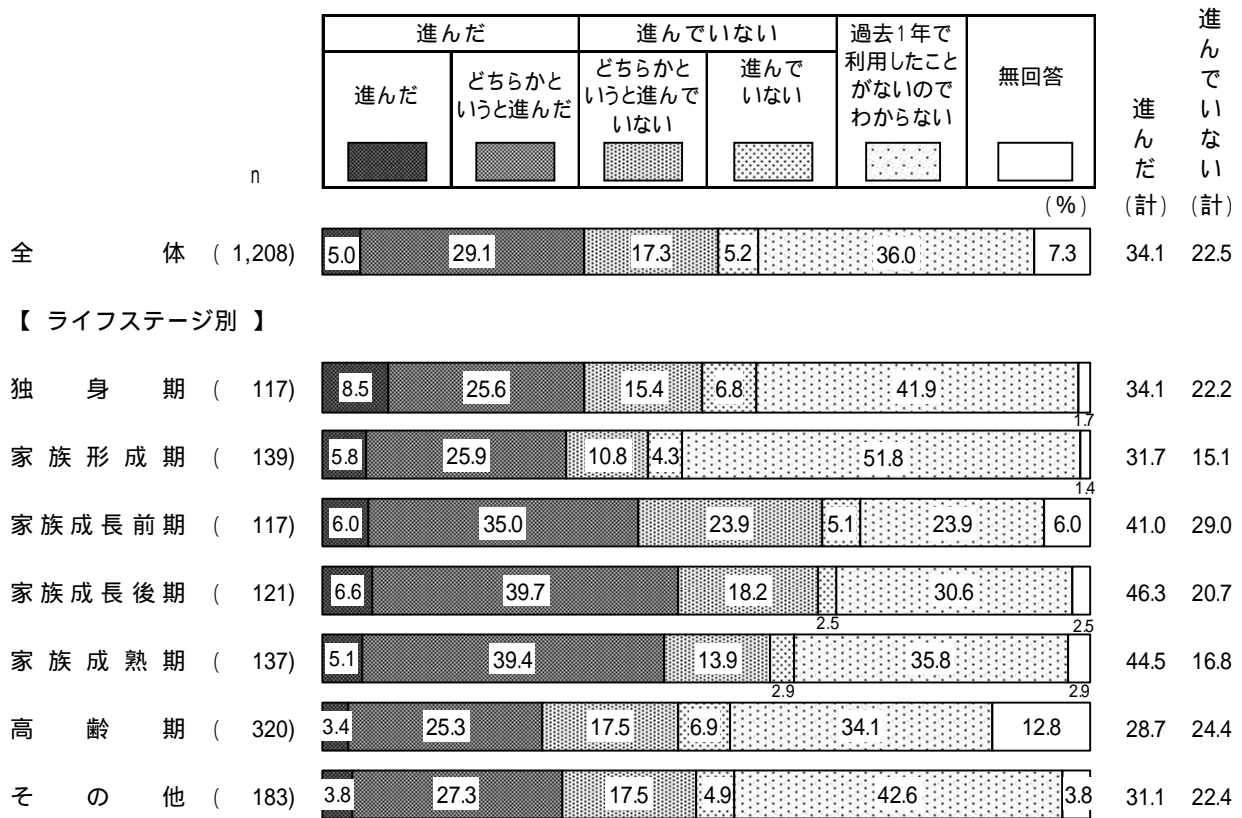
7 冠婚葬祭施設などの集会施設



ライフステージ別にみると、『進んだ』は家族成熟期で3割を超えている。一方、『進んでいない』は家族成熟期で2割台半ばとなっている。(図3 - 3 - 8)

図3 - 3 - 9 区内の中規模・小規模の建物のバリアフリー整備状況 - ライフステージ別

8 体育館やスポーツジムなどの運動施設

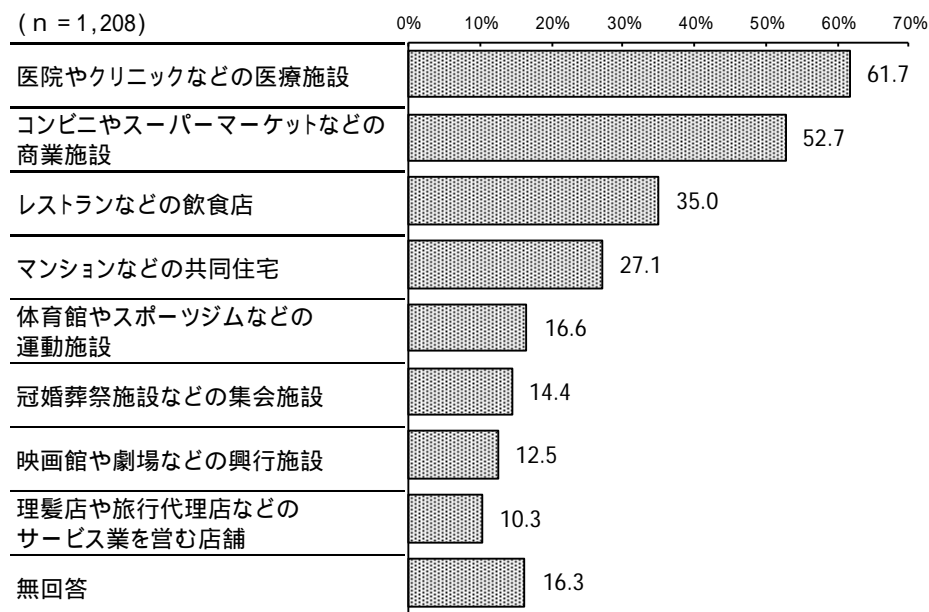


ライフステージ別にみると、『進んだ』は家族成長後期、家族成熟期で4割台半ばとなっている。一方、『進んでいない』は家族成長前期で約3割となっている。(図3 - 3 - 9)

(3 - 1) 重点的にバリアフリー化に取り組むべき建物
 「 医院やクリニックなどの医療施設 」は 6 割を超える

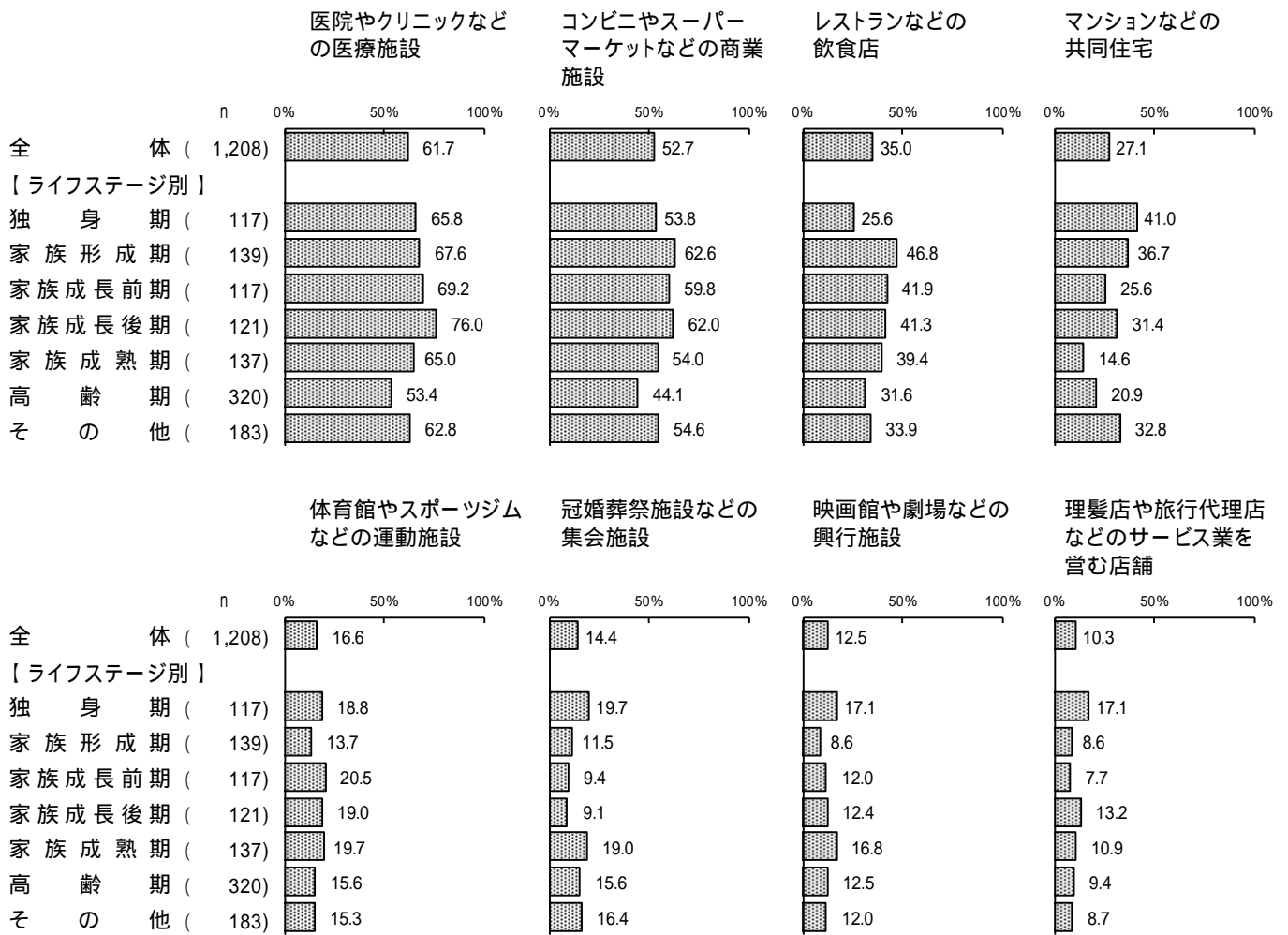
問25 - 1 今後、段差の解消や手すりの設置、車いすやベビーカーで使いやすいトイレの設置などのバリアフリー化について、重点的に取り組むべきと思う区内の建物を問25の 1 ~ 8 の項目の中からお答えください。(3 つまで)

図 3 - 3 - 10 重点的にバリアフリー化に取り組むべき建物



重点的にバリアフリー化に取り組むべき建物について聞いたところ、「 医院やクリニックなどの医療施設 」(61.7%) が 6 割を超えて最も多く、次いで「 コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設 」(52.7%)、「 レストランなどの飲食店 」(35.0%) の順となっている。(図 3 - 3 - 10)

図3 - 3 - 11 重点的にバリアフリー化に取り組むべき建物 - ライフステージ別



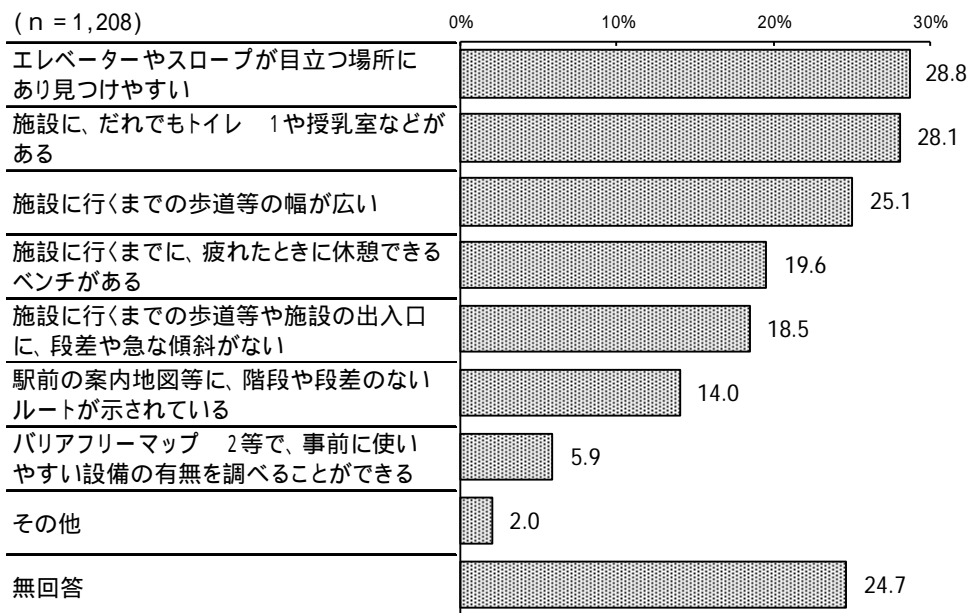
ライフステージ別にみると、「医院やクリニックなどの医療施設」は家族成長後期で7割台半ばと多くなっている。「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」は家族形成期、家族成長後期で6割を超えている。「レストランなどの飲食店」は家族形成期で4割台半ば、「マンションなどの共同住宅」は独身期で4割を超えている。(図3 - 3 - 11)

(4) 安心して外出するために必要な設備や案内

「エレベーターやスロープが目立つ場所にあり見つけやすい」は3割近く

問26 あなたが、日ごろ、区内の公共施設などに用事で出かけるときに、どのような設備や案内などがあるとより安心して外出できると感じますか。(は2つまで)

図3 - 4 - 1 安心して外出するために必要な設備や案内

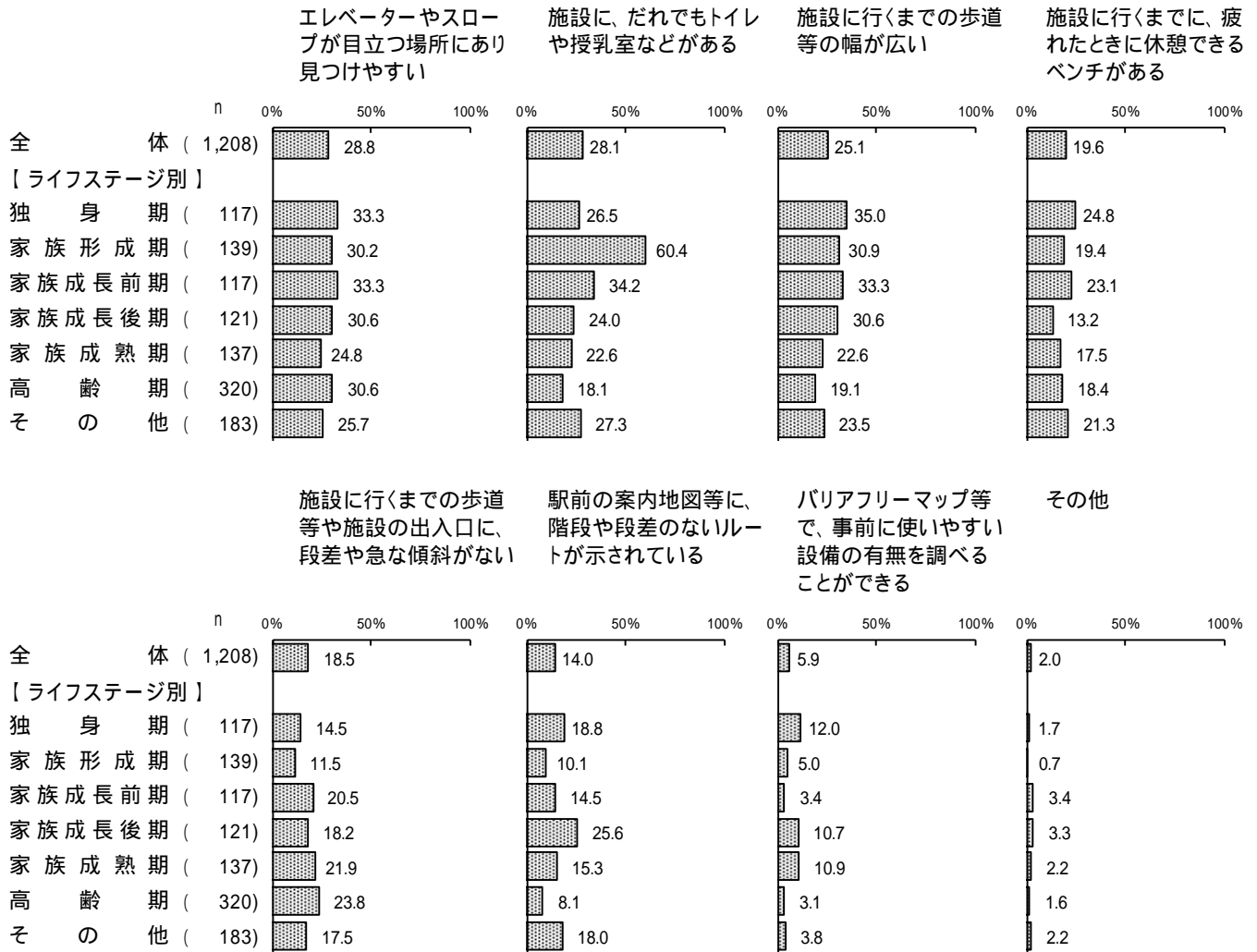


- 1 車いすやベビーカーが円滑に利用できる十分な広さと手すりなどの設備があるトイレ
- 2 各公共施設のエレベーターやだれでもトイレ、授乳室の有無などの詳細なバリアフリー情報がまとめられた印刷物またはインターネット上で提供される地図や設備一覧

安心して外出するために必要な設備や案内について聞いたところ、「エレベーターやスロープが目立つ場所にあり見つけやすい」(28.8%)が3割近くで最も多く、次いで「施設に、だれでもトイレや授乳室などがある」(28.1%)、「施設に行くまでの歩道等の幅が広い」(25.1%)の順となっている。

(図3 - 4 - 1)

図3 - 4 - 2 安心して外出するために必要な設備や案内 - ライフステージ別



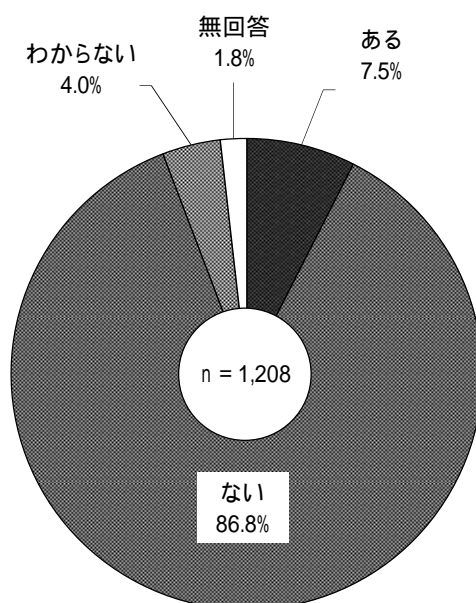
ライフステージ別に見ると、「施設に、だれでもトイレや授乳室などがある」は家族形成期で約6割と多くなっている。「施設に行くまでの歩道等の幅が広い」は独身期で3割台半ば、「施設に行くまでに、疲れたときに休憩できるベンチがある」は独身期で2割台半ば、「施設に行くまでの歩道等や施設の出入口に、段差や急な傾斜がない」は家族成熟期、高齢期で2割を超えている。(図3 - 4 - 2)

(5) 金銭の管理や契約手続きなどで支援を必要としたことの有無

「ない」は8割台半ば

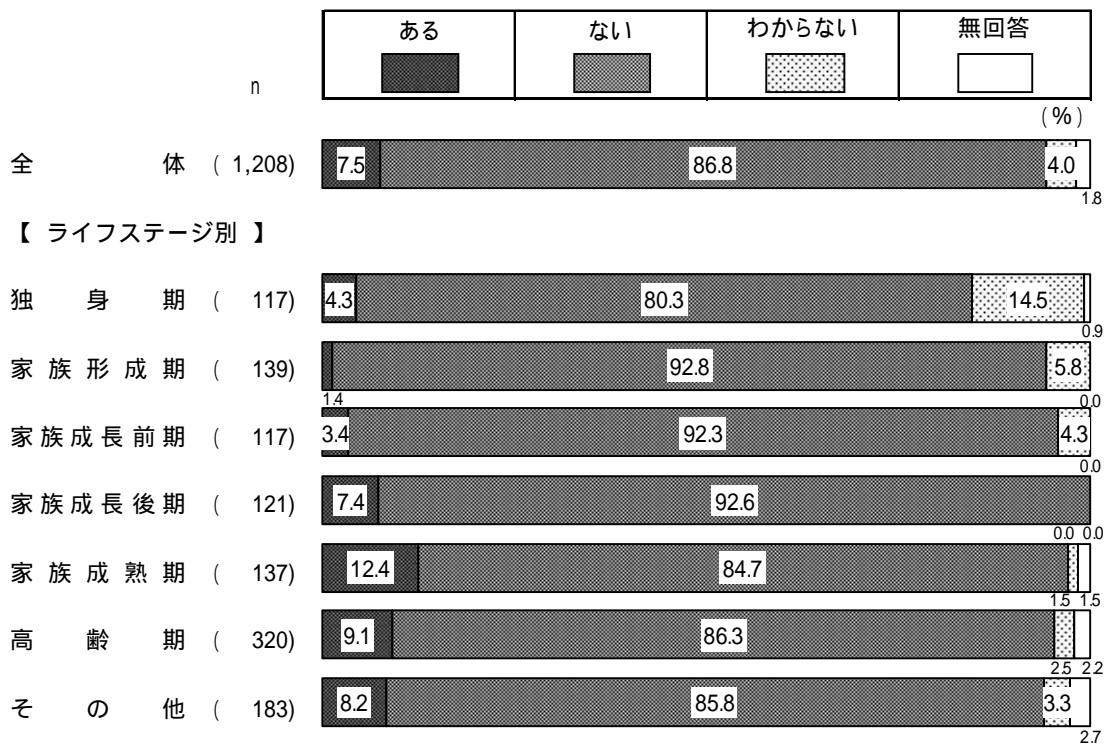
問27 これまでに、あなたや家族が金銭の管理や契約手続きなどで支援を必要としたことがありますか。

図3 - 5 - 1 金銭の管理や契約手続きなどで支援を必要としたことの有無



金銭の管理や契約手続きなどで支援を必要としたことの有無について聞いたところ、「ない」(86.8%)が8割台半ばを占めている。(図3 - 5 - 1)

図3 - 5 - 2 金銭の管理や契約手続きなどで支援を必要としたことの有無 - ライフステージ別



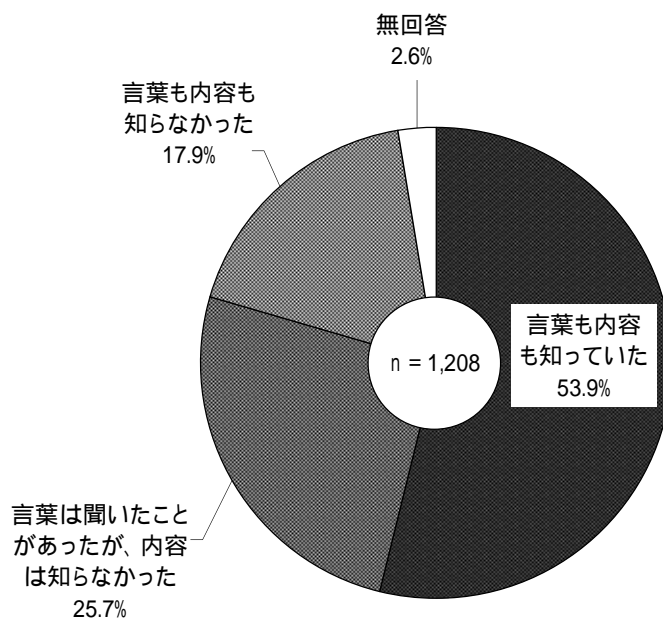
ライフステージ別にみると、「ある」は家族成熟期で1割を超え、「わからない」は独身期で1割台半ばとなっている。(図3 - 5 - 2)

(6) 成年後見制度の認知度

「言葉も内容も知っていた」は5割を超える

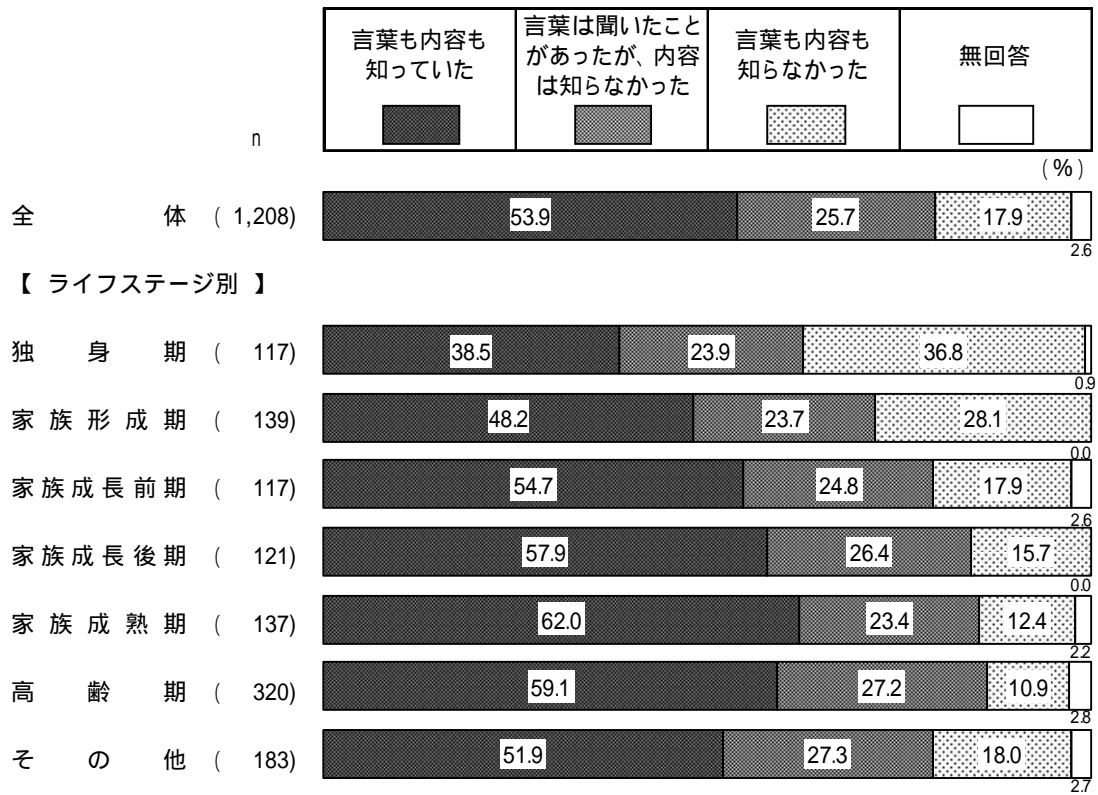
問28 成年後見制度について、上記の説明文を読む以前にどの程度知っていましたか。

図3 - 6 - 1 成年後見制度の認知度



成年後見制度の認知度について聞いたところ、「言葉も内容も知っていた」(53.9%)が5割を超えて最も多く、次いで「言葉は聞いたことがあったが、内容は知らなかった」(25.7%)となっている。一方、「言葉も内容も知らなかった」(17.9%)は2割近くとなっている。(図3 - 6 - 1)

図3 - 6 - 2 成年後見制度の認知度 - ライフステージ別

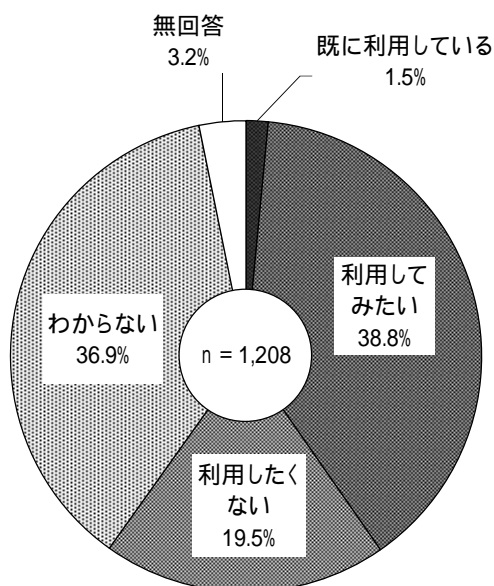


ライフステージ別にみると、「言葉も内容も知っていた」は家族成熟期で6割を超えて多くなっている。「言葉も内容も知らなかった」は独身期で3割台半ばとなっている。(図3 - 6 - 2)

(7) 成年後見制度の利用意向
「利用してみたい」は4割近く

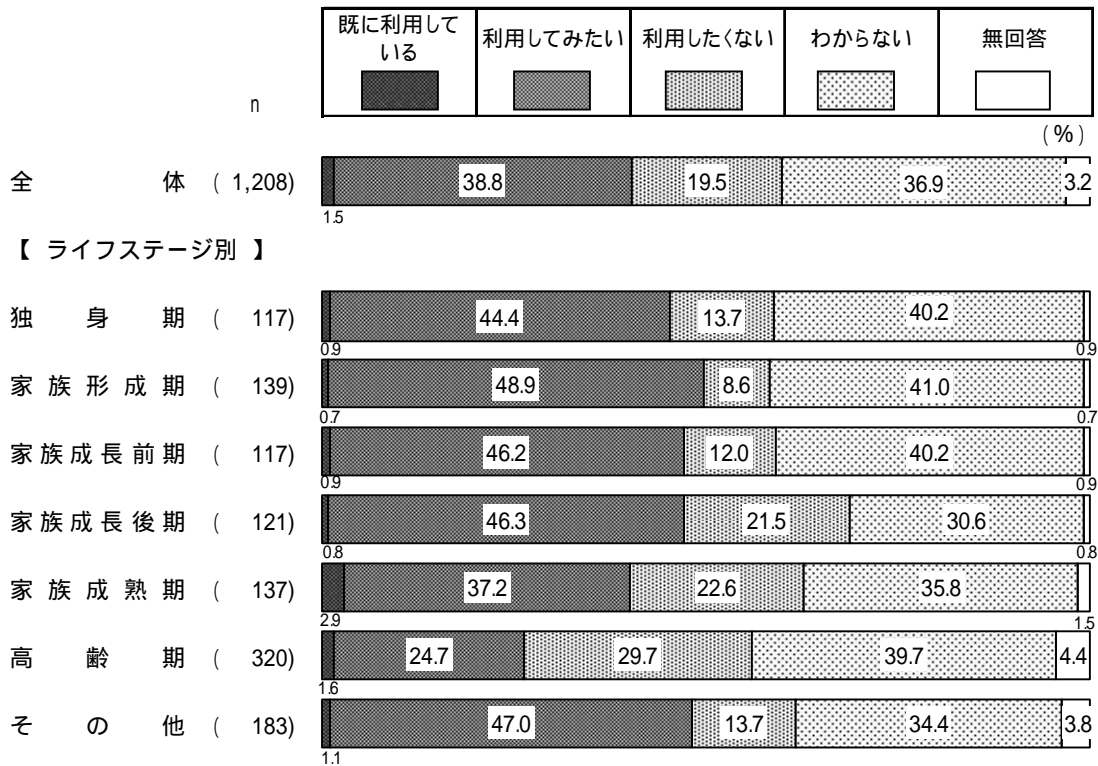
問29 あなたや家族が認知症等により判断が十分にできなくなった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。

図3-7-1 成年後見制度の利用意向



成年後見制度の利用意向について聞いたところ、「利用してみたい」（38.8％）が4割近くで最も多く、次いで「わからない」（36.9％）となっている。一方、「利用したくない」（19.5％）は約2割となっている。（図3-7-1）

図3 - 7 - 2 成年後見制度の利用意向 - ライフステージ別



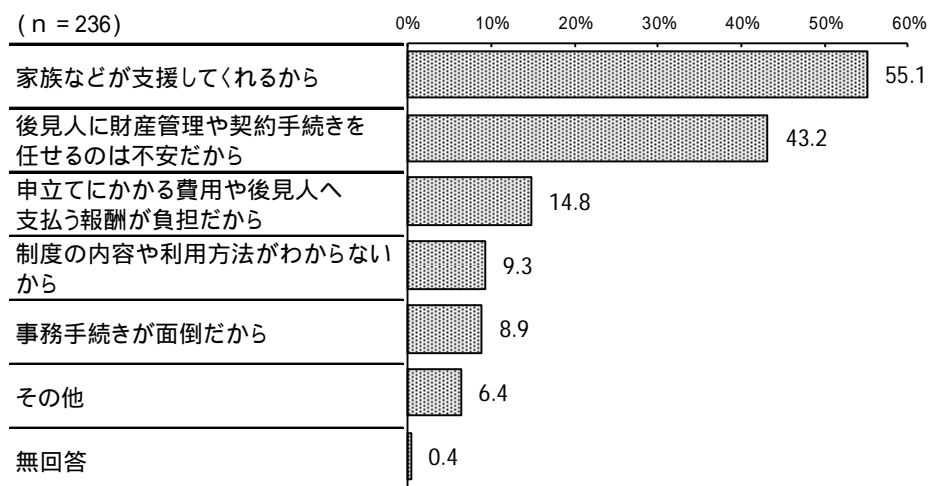
ライフステージ別にみると、「既に利用している」は全てのライフステージで1割未満となっている。「利用してみたい」は家族成熟期、高齢期を除く全てのライフステージで4割台となっている。「利用したくない」は高齢期で約3割、「わからない」は独身期、家族形成期、家族成長前期で4割台前半と多くなっている。(図3 - 7 - 2)

(7 - 1) 成年後見制度を利用したくない理由
 「家族などが支援してくれるから」は5割台半ば

(問29で「利用したくない」と答えた方へ)

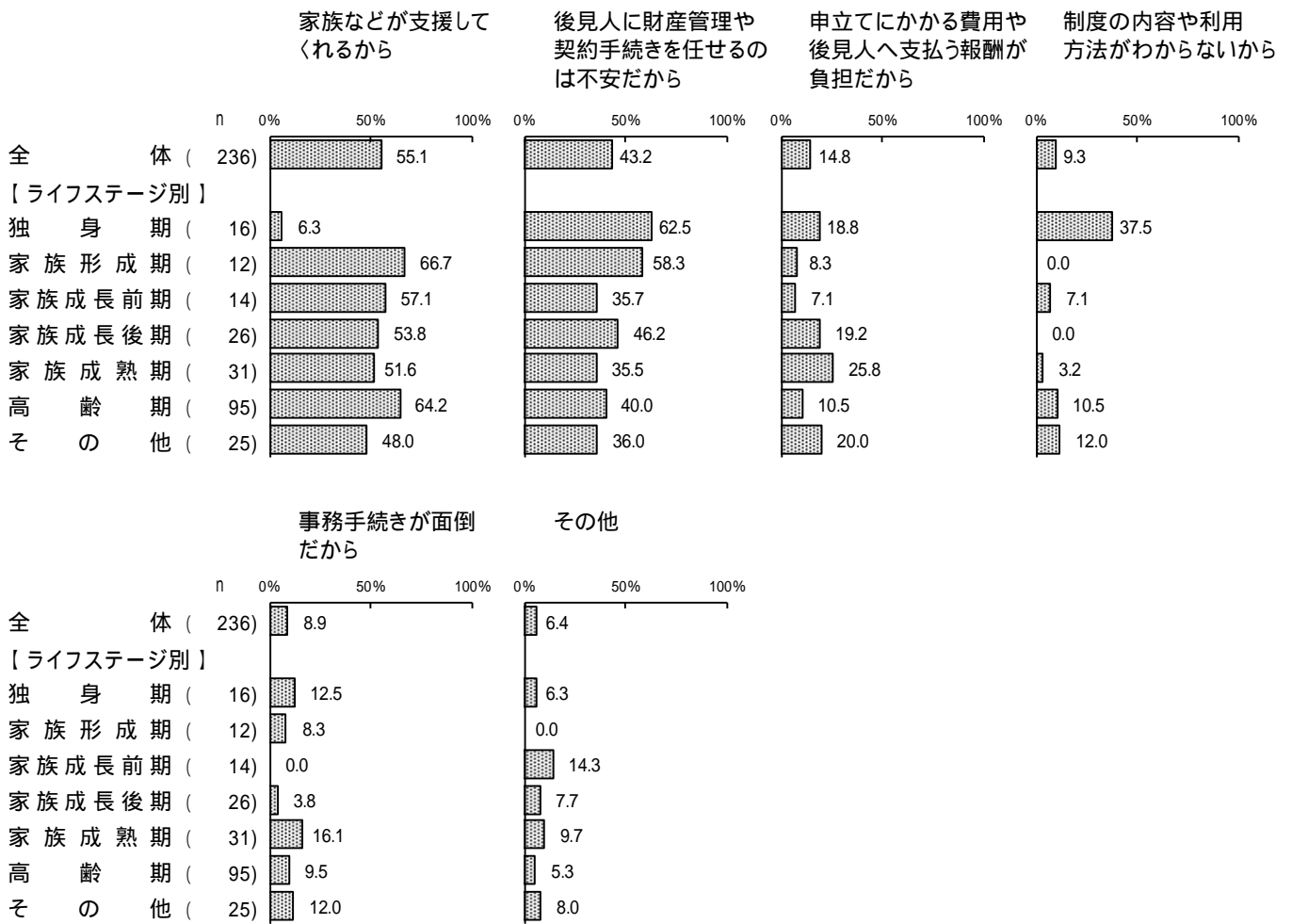
問29 - 1 利用したくない理由は何ですか。(は2つまで)

図 3 - 7 - 3 成年後見制度を利用したくない理由



成年後見制度を「利用したくない」と答えた方(236人)に、その理由について聞いたところ、「家族などが支援してくれるから」(55.1%)が5割台半ばで最も多く、次いで「後見人に財産管理や契約手続きを任せるのは不安だから」(43.2%)、「申立てにかかる費用や後見人へ支払う報酬が負担だから」(14.8%)の順となっている。(図3-7-3)

図3 - 7 - 4 成年後見制度を利用したくない理由 - ライフステージ別

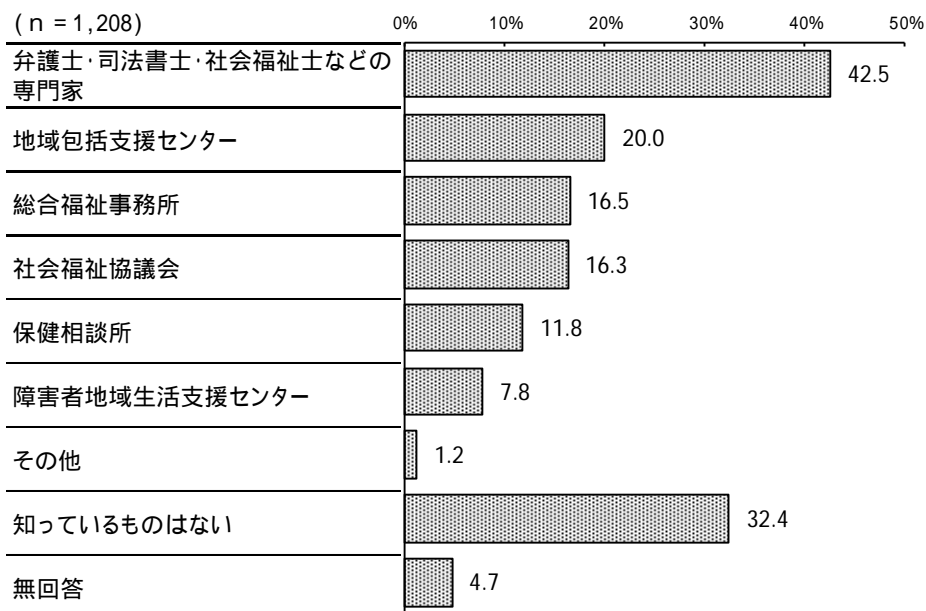


ライフステージ別にみると、「家族などが支援してくれるから」は家族形成期、高齢期で6割台半ばと多くなっている。(図3 - 7 - 4)

(8) 成年後見制度が必要になったときに相談できる機関の認知度
 「弁護士・司法書士・社会福祉士などの専門家」は4割を超える

問30 成年後見制度が必要になったときに相談できる機関として、知っているものはありますか。(はいいくつでも)

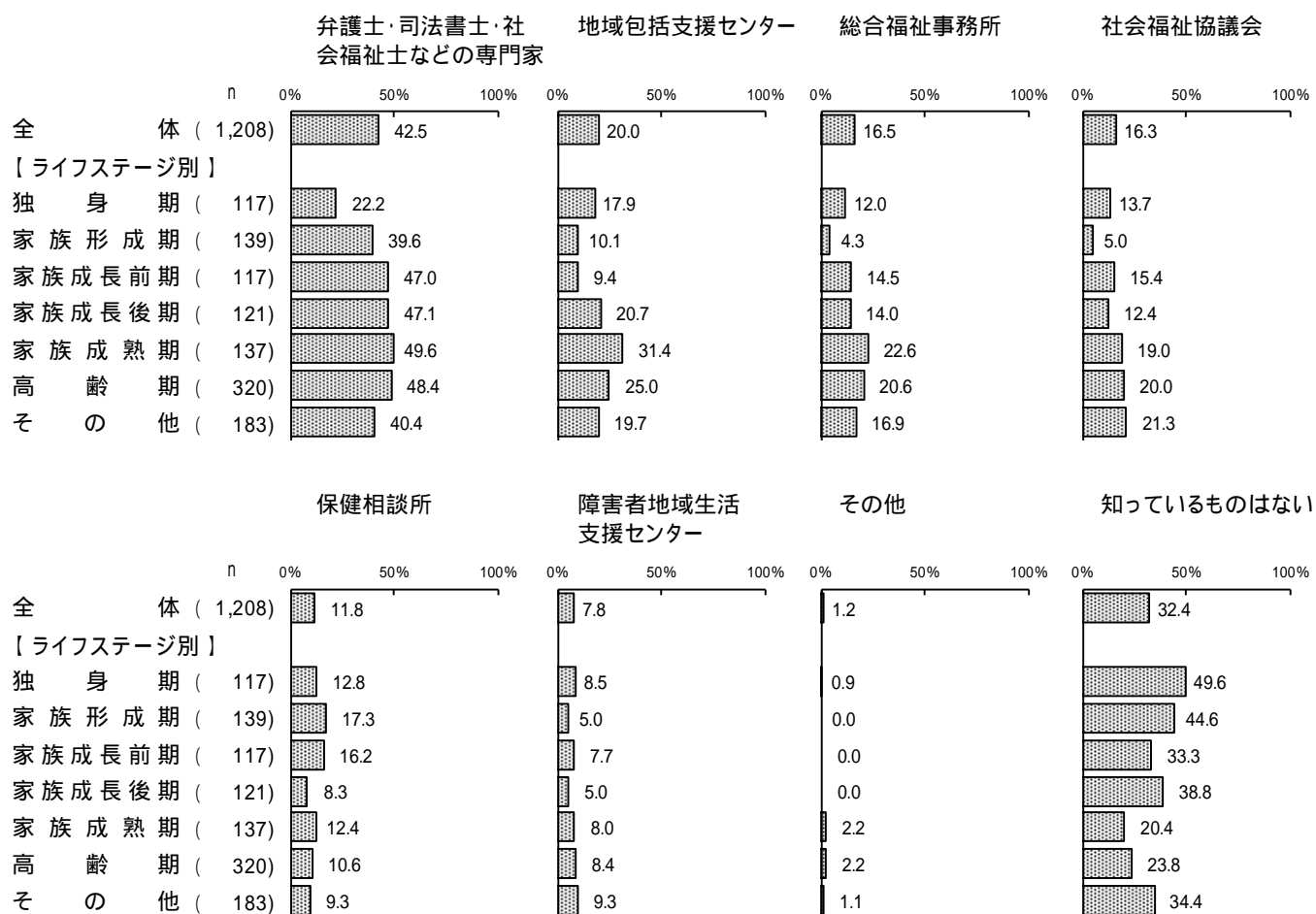
図3 - 8 - 1 成年後見制度が必要になったときに相談できる機関の認知度



成年後見制度が必要になったときに相談できる機関で知っているものを聞いたところ、「弁護士・司法書士・社会福祉士などの専門家」(42.5%)が4割を超えて最も多く、次いで「地域包括支援センター」(20.0%)となっている。一方、「知っているものはない」(32.4%)は3割を超えている。

(図3 - 8 - 1)

図3 - 8 - 2 成年後見制度が必要になったときに相談できる機関の認知度 - ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「弁護士・司法書士・社会福祉士などの専門家」は家族成長前期、家族成長後期、家族成熟期、高齢期で4割台後半となっている。「地域包括支援センター」は家族成熟期で3割を超え、「知っているものはない」は独身期で約5割と多くなっている。(図3 - 8 - 2)